

総合整備計画書（第1次変更）

香川県仲多度郡まんのう町 美合辺地
(辺地の人口 958 人 面積 67.5 k m²)

1. 辺地の概況

- (1) 辺地を構成する町又は字の名称
まんのう町中通、川東、勝浦の全域
- (2) 辺地の中心の位置
まんのう町野口 886 番地 3
- (3) 辺地度点数
102 点

2. 公共的施設の整備を必要とする事情

当該地区は、本庁から南東約 10 キロメートルに位置し、急峻な山間地がほとんどを占めており、平成 28 年度に琴南中学校が廃校となったことに伴い従前の川奥辺地と勝川辺地の地域だけでなく、中通、川東、勝浦地区の全域で著しく過疎化が進んでいる地域であるため、美合辺地として一体的な整備が必要である。

高齢化が進み農林業従事者は激減しており、農林業の低迷により所得の向上が望めず、地域産業は衰退の一途をたどっている中、農業体験や木工体験などの体験型事業などを通しての経済活動の活性化を図るうえでも老朽化した道路網の整備改良が必要である。

治山事業ユズリハ地区工事については、林道家六線は当該集落と県道を経由して隣接の徳島県の市町へ通じる重要な生活道路であるが、近年の豪雨等により山林からの土砂等で道路が被害を受けている。治山工事を実施することで道路の通行車両及び歩行者の危険性を解消し、重要な生活道路としての利便性の向上を図る必要がある。

西谷地区防火水槽設置事業については、当該地区内は上水道が整備されておらず山水を使用して生活しており、消防水利においても前述の理由により消火栓が整備されておらず山林火災等が発生した際には甚大な被害が発生する恐れがある為、防火水槽を整備し消防水利の確保を図る必要がある。

町道大川 1 号線については、国道から大川神社、大川キャンプ場までの重要な道路であるが、近年の豪雨等により道路路肩が老朽化により、崩落する危険な状態である。事業実施することで道路の通行車両及び歩行者の危険性を解消し、重要な道路としての利便性の向上を図る必要がある。

町道西下福家線については、県道から集落までの重要な生活道路であるが、近

年の豪雨等により道路路肩が老朽化により、崩落する危険な状態である。事業実施することで道路の通行車両及び歩行者の危険性を解消し、重要な生活道路としての利便性の向上を図る必要がある。

町道長谷吹佐古線については、国道から集落までの重要な生活道路であるが、近年の豪雨等により山林側の土留めブロックが老朽化により、崩落する危険な状態である。事業実施することで道路の通行車両及び歩行者の危険性を解消し、重要な生活道路としての利便性の向上を図る必要がある。

町道株切線については、国道、県道から集落までの重要な生活道路であるが、近年の豪雨等により道路路肩が老朽化により崩落する危険な状態であり、また急峻な地形と豪雨のため路面の痛みが激しく、車両通行に支障をきたしている。事業実施することで道路の通行車両及び歩行者の危険性を解消し、重要な生活道路としての利便性の向上を図る必要がある。

町道美合安原線については、国道から集落までの重要な生活道路であるが、近年の豪雨等により道路路肩が老朽化により、崩落する危険な状態である。事業実施することで道路の通行車両及び歩行者の危険性を解消し、重要な生活道路としての利便性の向上を図る必要がある。

町道島ヶ峰線については、県道から集落までの重要な道路であるが、近年の豪雨等により道路路肩が老朽化により、崩落する危険な状態である。事業実施することで道路の通行車両及び歩行者の危険性を解消し、重要な道路としての利便性の向上を図る必要がある。

町道勝浦線については、県道から集落までの重要な生活道路であるが、急峻な地形と豪雨のため路面の痛みが激しく、車両通行に支障をきたしていることから、道路舗装により通行車両及び歩行者の危険性を解消し、生活道路としての利便性の向上を図る必要がある。

町道川奥中央線については、県道から集落までの重要な生活道路であるが、近年の豪雨等により道路路肩が老朽化により、崩落する危険な状態である。事業実施することで道路の通行車両及び歩行者の危険性を解消し、重要な生活道路としての利便性の向上を図る必要がある。

林道花びら線については、林業における主要な路線であるが、急峻な地形と豪雨により路面の痛みが激しく、車両通行に支障をきたしている。また法面の浸食により落石の危険性が高いことから、道路舗装及び法面保護により通行車両及び歩行者の危険性を解消し、道路としての利便性の向上を図る必要がある。

谷田橋は、国道 438 号線とまんのう町勝浦地区を結ぶ主要な道路であり、生活道路として重要な役割を担っている。主桁及び支承本体に全体的に防食機能の劣

化が見られる。耐久性向上のための補修を行い、ライフサイクルコストの縮減、安全で円滑な交通の確保を行う。

島ヶ峰地区は、標高 900 メートルの急峻な地形に形成されたそばの棚田を有しており、日本の原風景ともいえる美しい景観を誇る地域である。しかし、地形的制約から土砂災害のリスクが高く、近年の異常気象による法面の浸食や道路の劣化が深刻化しており、住民及び観光客の安全性を確保する必要がある。法面や道路等の基盤施設の改修を行うとともに、棚田景観を活かした観光交流人口の拡大に向けた施設整備を行い、地域の活性化と持続可能な保全を図ることを目的とする。

3. 公共的施設の整備計画

令和6年度から令和10年度まで5年間

(単位：千円)

区 分		事業費	財 源 内 訳		一般財源の うち辺地対 策事業債の 予定額
施 設 名	事 業 主体名		特定財 源	一般財源	
治山事業ユズリハ地区工事	まんのう町	10,000	5,000	5,000	5,000
西谷地区防火水槽設置事業	まんのう町	20,000	0	20,000	20,000
町道大川1号線改修工事	まんのう町	27,500	0	27,500	27,500
町道西下福家線改修工事	まんのう町	7,000	0	7,000	7,000
町道長谷吹佐古線改修工事	まんのう町	56,000	0	56,000	56,000
町道株切線改修工事	まんのう町	5,500	0	5,500	5,500
町道株切線舗装工事	まんのう町	17,500	0	17,500	17,500
町道美合安原線改修工事	まんのう町	3,500	0	3,500	3,500
町道島ヶ峰線改修工事	まんのう町	16,500	0	16,500	16,500
町道勝浦線舗装工事	まんのう町	17,500	0	17,500	17,500
町道川奥中央線改修工事	まんのう町	3,500	0	3,500	3,500
林道花びら線舗装工事	まんのう町	4,950	2,475	2,475	2,400
林道花びら線改良工事	まんのう町	1,980	990	990	900
谷田橋修繕工事	まんのう町	6,000	3,500	2,500	2,500
島ヶ峰地区整備事業	まんのう町	18,000	0	18,000	18,000
合 計		215,430	11,965	203,465	203,300